

質 問 回 答 書

質問者記載事項

1. 質 問 日：令和8年6月25日

2. 番号：デ借第14号

3. 件名：仮想ブラウザシステム使用

4. 質問事項

1. 「仕様書 - 3 使用期間」に関する質問となります。
本システムの使用開始が令和9年1月1日で指定されております。弊社が選定する構成には物理サーバが含まれており、昨今、世界的にハードウェアの納期が長期化していることから、システム利用開始日までに調達が間に合わない可能性がございます。この場合、契約期間変更について協議可能でしょうか。また、その際に受注者への指名停止等のペナルティは課されないということでしょうか。
2. システム使用終了後のハードウェア撤去及びデータ消去に関する質問となります。
システム使用終了後は受注者にてハードウェアの撤去及び貴市指定の場所にてデータ消去を行い、その後にデータ消去証明書を発行する認識でよろしいでしょうか。また、データ消去の手法（物理破壊、ソフトウェア消去）についてご指定がございましたらご教示ください。
3. 「仕様書 - 3 要件 - (1) 環境構築 - (ウ)」の箇所に関する質問となります。
端末へのソフトウェアのインストールは貴市で行われ、受注者はその支援を行うという認識でよろしいでしょうか。受注者側で行う必要がある場合、資産管理システムのソフトウェア配布機能を使用させていただくことは可能でしょうか。
4. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 3-11 ユーザ機能の箇所」に関する質問となります。
「ローカル環境から仮想環境へファイルをアップロードする際、上長承認によるワークフローの機能を有すること」と記載がございますが、承認なしではアップロードできない制御が必須という認識でよろしいでしょうか。
5. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 4 ダウンロード機能」の箇所に関する質問となります。
ファイルダウンロード（仮想ブラウザ→ローカル環境）については、承認機能に関する記載がございませんが、無害化できなかったファイルのダウンロードに関しても承認は不要でしょうか。
6. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 4-2 ダウンロード機能」の箇所に関する質問となります。
無害化対象外のファイルについては、ウイルススキャンを実施できることと記載がございます。

ますが、暗号化されたファイルや容量（5GB 以上）が大きなファイル、パスワードで保護されているアーカイブファイル、圧縮率が異常に高くアーカイブ爆弾と判断されるファイルなど、スキャン対象外となるファイルが一部ございますがよろしいでしょうか。

7. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 7-1 機器要件の箇所に関する質問となります。

「機器を導入する場合は、ラックマウント型で2U 以下のものとする」と記載がございますが、1 台あたりのU 数が2U 以下で、導入機器全体のU 数ではないという認識でよろしいでしょうか。

8. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 7-1 機器要件」の箇所に関する質問となります。

弊社が選定する製品では、プロキシサーバの代わりとしてセキュアゲートウェイの導入を想定しております。クライアントのWeb アクセスはセキュアゲートウェイを経由してインターネット接続を行う構成となりますが、こちらの代替機器の導入でもよろしいでしょうか。なお、Web アクセスログはセキュアゲートウェイで取得できます。

9. 「仕様書 - 3 要件 - (2) システム要件 - 3-11 ユーザ機能 - 5-2 アップロード機能」に関する質問となります。

システム要件No. 3-11 に「ローカル環境から仮想環境へファイルをアップロードする際、上長承認によるワークフローの機能を有すること」、システム要件No. 5-2 に「ファイルのアップロード時に第三者による承認が行えること。承認者については、システム管理者又はユーザ自身によって指定できること。」と記載がございますが、上長または上長以外の第三者による承認が、システム管理者又はユーザ自身によって指定でき、かつ上長または上長以外の第三者による承認が必須というに認識でよろしいでしょうか。

回答者記載事項

5. 回答事項

1 昨今の半導体不足等による世界的情勢のなか、受注者の責めによらず端末の納期が遅れるような場合は、納期や契約期間変更について協議可能です。この場合、受注者へのペナルティはありません。

2 賃貸借契約ではないため、ハードウェアの撤去は要件としていません。データ消去については、NIST SP800-88 Rev. 1のPurge又はDestroyとします。

3 認識のとおりです。必要であれば、資産管理ソフトを使用していただくことも可能です。

4 「承認なしではアップロードできない制御」は必須としませんが、機能を有すること及び本機能を使いたい場合、確実に上長承認が必要になることを要件としています。（本機能を使いたい場合であるにもかかわらず、上長承認なしでアップロードできてしまう場合は、要件を満たさないことになります。）

5 承認については、必須の要件とはしていません。

- 6 ウイルススキャンをすることができない相当の理由がある場合については、対象外となることも可とします。
- 7 認識のとおりです。
- 8 該当の機器がクライアントからインターネットへの通信を中継し、かつWebアクセスログを記録する機能を有していれば、代替機器の導入でも可とします。
- 9 仕様書の該当箇所の3-11及び5-2をまとめると、ローカル環境から仮想環境へファイルをアップロードする際には、上長又は上長以外の第三者による承認を必要とする機能を有し、その承認者については、システム管理者又はシステムのユーザ自身が指定できる機能を有することとなります。

※当書により質問を行う場合は、Wordのまま、メールに添付すること